

平成 29 年度市政懇談会 開催議事録

開催日時：平成 29 年 6 月 18 日（日）午前 10 時～11 時 30 分

場 所：福原公民館

出席者：10 名

《フリートーク（意見交換）》

- 1 草木の処理について
- 2 消防団OBの活用について
- 3 吾国愛宕ハイキングコースについて
- 4 福原地区へのスーパーマーケット等の誘致について
- 5 大洗町の日本原子力研究開発機構で起きた事故について
- 6 いきいき茨城ゆめ国体の競技について
- 7 空き家対策について
- 8 第 2 次総合計画における福原地区の計画について
- 9 中央クリニック横の土地活用について
- 10 笠間市のイノシシ対策について

1 草木の処理について

【意見等】

毎年春・秋に福原地区で草木を刈ったり、ゴミを集めたり大掃除をしている。特に草木の処理が大変なので、市で回収する等対応をしてもらえないか。小さいものなら焼いてしまうこともできるが。

【回答】

ご承知のように野焼きは禁止ですので、燃やさないでください。

除草作業は地元の方にボランティアで対応いただき、草木の回収は業者に依頼してください。市の方でも何か対応できるか確認してみます。

2 消防団OBの活用について

【意見等】

以前火事があったとき、現場から一番近い消防団の到着が一番最後だった。消防団は 3 人集まらないと車両を出すことができず、昼間は市外で働いているので夜間とはともかく昼間はすぐ出動できない。

地元にいる消防団 OB の方を活用する等、火事の時にすぐ消防車が出動できる体制をとることができないか。

【回答】

実際に、15 人の消防団員のうち、地元で働いているのは 2, 3 人という消防団があり、火事の際に地元で働いている団員が少ないと、すぐに駆け付けられ

ない場合もあります。今、お話があった消防団のOBを活用する件ですが、消防団OBの会が発足していたり、本部役員のOB会もあつたり、その中で何かボランティアができないかという話が出ていますので、OBの皆さんがどのようなお手伝いができるのか検討します。

3 吾国愛宕ハイキングコースについて

【意見等】

岩間からのハイキングコースは利用者が結構いる。ハイキングに来た人の話を聞くと、一番の問題はトイレがないこと。今までは、吾国山の洗心館にあつたが今はなくなってしまった。有料でもいいからトイレを造ってほしいという話も良く聞く。トイレを造ると、掃除といった管理的な問題が出てくると思うが、有料にすれば多少なりとも収入も入る。

また、ハイキングコースのホームページが簡易すぎるので、もう少し詳しくコース等を掲載してほしい。

【回答】

いろいろな場で、ハイキングコースにトイレがなくて困っているというご意見は伺っています。今のところ費用や維持管理の面で問題があり、トイレの設置については進展していません。ハイキングコースは距離があるので、引き続き議論してみます。ホームページの内容については確認して対応していきます。

4 福原地区へのスーパーマーケット等の誘致について

【意見等】

福原団地の中、若しくは近くに買い物ができるお店がない。スーパーマーケット等を造ってほしい。

【回答】

買い物ができるところがなく不便だという意見をいただいておりますが、現実的に市が造ることはできないですし、民間がお店を造るのも難しいと思います。以前、別の地区で移動販売を行ったことがあります。1日10万円位の売り上げがないと、継続が難しいのが現状です。

不便だとその土地から人が離れてしまうことにつながるのを、改善案を検討します。

5 大洗町の日本原子力研究開発機構で起きた事故について

【意見等】

日本原子力研究開発機構の事故で、センター長が今回の事故は想定外だったと説明していたが、想定外等と発言するセンター長は長の資格がない。そういう意識がない人についてもらいたい。

新たに赴任する人には想定内、想定外にかかわらず無事故で作業することを

県知事及び関係市町村長に宣誓してから就任するよう、市長から日本原子力研究開発機構へ要求してほしい。他に今回の件で、市長として日本原子力研究開発機構に要求していることがあれば教えてほしい。

【回答】

今回の事故は、安全管理の部分でかなり落ち度があったと報道を見た範囲では思っています。過去の事故を振り返ればもっとしっかりとした対策ができたのではと思います。自然界では想定外のことが起こることもありますが、今回の事故は想定外のことというよりも安全確保を怠ったものと思っています。

事故の件では、隣接自治体が申し入れをしており、笠間市や那珂市といった隣接していない自治体は様子を見るということで申し入れはしていません。

6 いきいき茨城ゆめ国体の競技について

【意見等】

いきいき茨城ゆめ国体で、笠間市で行う競技は何種類あるのか。

【回答】

軟式野球、クレー射撃、ゴルフ、デモンストレーション競技で合気道が行われます。

7 空き家対策について

【意見等】

人口減少問題における対応は、自治体間の競争でもある。笠間市として、空き家対策も含めて人口減少問題における独自の対策はあるか。

福原地区にある宿泊体験できる「かさちょこハウス」は、現在も活用しているのか。活用しているのであればどのくらいの利用があるか、また、どういう効果があるか。

【回答】

人口が減少することによって労働力の確保が困難になる等、様々な問題が生じています。

市は、市外から来た方に対し、空き家を使った移住支援をしています。「かさちょこハウス」の体験利用は現在も継続して行っています。そこから移住につながった事例は、多くはないですが何件かあります。

「かさちょこハウス」は農村だけでなく、街中にも造って笠間の良さを知ってもらいたいと思います。

また、移住者だけでなく、その他の独自の対策として、進学で地元を離れた学生に、地元で就職してもらえようような取り組みを進めています。現状としては、進学で県外に出た後、地元に戻ってくる学生は2割位なので、この割合を上げようとしています。そのためには働く場所がなくてはなりません。笠間市

にも優良企業がありますので、パンフレット等を作成し、地元企業を学生に知ってもらい、一人でも多く呼び戻したいと考えています。

若い方だけでなく、退職した方も地元に戻ってこられるような情報提供も必要だと思います。

7月に東京圏在住の笠間市出身者を中心に、笠間に興味がある方等と、東京で交流会を予定しています。笠間市との縁が続くような取り組みを根気強く行うことが必要だと思います。

市内の人口動態ですが、地区別にみると、笠間地区と岩間地区は減っていて、友部地区は増えています。市では、子育てや福祉の充実、下水道の整備等、環境整備を進めています。

子育て等いろいろなことに助成金を出す自治体もありますが、市のスタンスとしては、現金給付ではなく子育て環境の充実を図ることで対応していきたいと思っています。

8 第2次総合計画における福原地区の計画について

【意見等】

第2次総合計画の中で、福原地区は今後、どのような対応が取られることになっているのか。

【回答】

市全体の政策として計画を作っていて、地区別で計画しているわけではありませんので、福原地区はどのようにするのかといった記載はしていません。ただ、福原の里山は維持していくことが大切だと思いますし、住んでいる方にとっての利便性は向上させていきたいと思っています。そのうえで住んでいる方の生活を充実させることが大切だと考えています。

9 中央クリニック横の土地活用について

【意見等】

福原地区にできた中央クリニック脇の土地が空いているので、整形外科を造る等、何か活用の話はありますか。

【回答】

いろいろな利活用についてお話は伺っています。市では、統計をとって何が必要か検討して、計画を立てているので、それに沿った利活用をしていきたいと思っています。

最近、関戸地区に歯医者さんができたりしているので、一つ一つ不便さを解消していきたいと思っています。

10 笠間市のイノシシ対策について

【意見等】

イノシシの数が増えているが、市ではどのような対策を考えているか。

【回答】

これまでは実施隊にお願いしていたイノシシ対策ですが、実施隊を構成する猟友会の会員が約3割減っています。

昨年から、電気柵の設置については、家庭菜園にも対象を広げています。今年も市による支援をさらに充実させていきます。

新しい取り組みとして、罠の免許を取る際の受講申請、講習受講料の全額負担、罠の貸出制度（括り罠、箱罠）、イノシシ捕獲1頭につき5,000円の補助金の創設等を予定しています。

免許を取って、狩猟できるのが11月中旬から3月末までで、それ以外は許可がないと捕獲できません。これについても改善を検討します。去年は120頭程のイノシシを捕獲しました。できるだけ早急に、通年通して対応できるようにしていきます。